

令和3年度 授業実施計画書

学 年	1 年	組	科目担当者
教 科 名	国 語	1	
科 目 名	国語総合（現代文分野）	2	
単 位 数	1	3	
必修選択区分	必履修	4	
使用教科書	精選国語総合 現代文編 改訂版（筑摩書房）	5	
使用副教材		6	
		7	
		8	

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 散文教材を学習して語彙力を養う。 ・ 本文に即して作者の考えや文章の論理的構成を理解する。 ・ 随筆と評論との読み方の違いを知る。
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評論教材の学習を通して語彙力を養う。 ・ 本文の論理展開を追いながら、論旨を明確に読み取る力を身につける。 ・ 自分の考えをまとめ、効果的に表現する力を身につける。
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的教材のレトリックについて知識を深め、その表現について理解する。 ・ 1・2学期で身につけた力を確認するとともに定着させる。
担当者からのコメント	現代文の学習（作者との対話）は、作者の主張や考えを本文に即して的確に読み取ることから始まります。授業では的確に読み取る力を養うと共に、読み取った内容を表現し、伝え合う力を身につけていきます。	

成績評価	観 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. （関心・意欲・態度）国語に対する理解を深め、進んで理解し、伝え合おうとしている。 2. （話すこと・聞くこと）相手の立場や意見を尊重し、場に応じて話したり聞いたりできる。 3. （書くこと）論拠に基づき構成や展開を工夫し、文章をまとめることができる。 4. （読むこと）文章の内容を構成や表現に即して的確に読み取ることができる。 5. （国語の特質）理解と表現のための文法・語彙などを理解し、知識を習得することができる。
	方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査 2. 授業への取り組み 3. 小テストや提出物など

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学 期	中 間	6	『境目』『トロンボーンを吹く女子学生』 その他発展教材	週末や夏期休業中に 課題を課す。
期 末		6	『ことばとは何か』『デジタル社会』 その他発展教材		
2 学 期	中 間	7	『言葉と経験』『羅生門』	週末や冬期休業中に 課題を課す。	
	期 末	7	『主体という物語』『来るべき民主主義』『「開かれた文化』		
3 学 期	学 年 末	9	『失われた両腕』『名付けと所有』他	週末や春期休業中に 課題を課す。	

令和3年度 授業実施計画書

学 年	1 年	組	科目担当者
教 科 名	国 語	1	
科 目 名	国語総合（古典分野）	2	
単 位 数	3	3	
必修選択区分	必履修	4	
使用教科書	精選国語総合 古典編 改訂版（筑摩書房）	5	
使用副教材	完全マスター古典文法（第一学習社）・準拠ノート基礎固め	6	
	新明説漢文（尚文出版）・新明説漢文ノート	7	
	古文単語330（いいずな書店）・新国語総合ガイド（京都書房）	8	

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用言の活用・基本的な助動詞の文法的意味を理解することができる。 ・ 漢文の訓点の性質を理解することができる。
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 係り結びや助詞・敬語の基本事項、和歌の修辞法を理解することができる。 ・ 疑問形・反語形・受身形・使役形など、基本的な句法を理解することができる。
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典文法と、古文読解の基礎的な力を固めることができる。 ・ 諸子百家の思想を学ぶ上で基礎となる、儒家の思想を理解することができる。
担当者からのコメント	古典文法や漢文句法、古典常識など習得すべき知識事項が多い。しかし、これらを確実に習得することによって、今後の学力伸長が約束される。	

成績評価	観 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 古典の世界に興味・関心を持って、積極的に授業に取り組めたか。 2. 用言や助動詞をはじめとする古典文法や古語・古典常識について理解できたか。 3. 漢文訓読法や句法・漢詩の規則について理解できたか。 4. 設問の意図を十分に理解した答案が作れるようになったか。
	方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査 2. 授業への取り組み 3. 小テストや課題等の提出物

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学 期	中 間	18	歴史的仮名遣い・用言の活用 『児のそら寝』・『絵仏師良秀』	3単位のうち、古文2時間・漢文1時間の割合で進める。
期 末		18	『伊勢物語』・『竹取物語』 漢文訓読法、『戦国策』・『列子』		
2 学 期	中 間	21	『土佐日記』・『更級日記』 『十八史略』	3単位のうち、古文2時間・漢文1時間の割合で進める。	
	期 末	21	『徒然草』・「和歌」 『孟子』・『淮南子』		
3 学 期	学 年 末	27	『平家物語』・『奥の細道』 『雑説』・『唐詩』・『論語』	適宜小テスト等を行う。	

令和3年度 授業実施計画書

学 年	1 年	組	科目担当者
教 科 名	国 語	1	
科 目 名	国語探究	2	
単 位 数	1	3	
必修選択区分	学校必修修（学校設定科目）	4	
使用教科書	オリジナル教材利用	5	
使用副教材		6	
		7	
		8	

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な「問い」を立てたり、深める力を養う。 ・文献検索のしかたや、文献リスト、レジメの作り方を身につける。 ・自分の考えを論理的かつ分かりやすく伝えられるようになる。
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な資料に基づき、対論を設定したり、対話の中で思考を深める方法を身につける。 ・文章を比較しながら読み取り、内容の差異をまとめたり、それに対する自分の考えをまとめられるようになる。
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み、主題や構造について多角的に読み取ることができるようになる。 ・文章を読み、筆者の意図や思考を理解した上で、文章を評価する力を養う。
担当者からのコメント	<p>「国語探究」が重視するのは、「先生の問いに答えること」ではなく、「自分の問いたいことを、自分で問い、自分なりの答えを見つけ出すこと」です。授業における様々な活動はここに収斂していきます。</p>	

成績評価	観 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. （話す）聞き手を意識し、自分の主張を論理的に話し、伝えることができる。 2. （聞くこと）相手の意図を理解して、主張・考えを適切に聞くことができる。 3. （書くこと）論拠に基づき構成や展開を工夫し、文章をまとめることができる。 4. （読むこと）文章の内容を構成や表現に即して的確に読み取ることができる。
	方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対話・問いかけの活動の観察・自己評価 2. レポート 3. 個人・班によるプレゼンテーション

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中 間	6	文献講読の方法を学び、文献リストやレジメを作成する。	「総合的な探究の時間」における「探究基礎」での活動と並行して、様々な資料を用いながら、自分の課題を設定し、課題解決をしていくスキルを身につける。
期 末		6	文学批評のスキルを身に付け、文学作品の分析を行う。		
2 学期	中 間	7	設定した課題について成果を発表する。 (レポート作成、プレゼンテーション)		
	期 末	7	様々な資料に基づき、多様な観点から文学作品の解釈を行う。		
3 学期	学 年 末	9	『失われた両腕』 『名付けと所有』 他		

令和3年度 授業実施計画書

学 年	2 年	組	科目担当者
教 科 名	国 語	1	
科 目 名	国語探究	2	
単 位 数	2	3	
必修選択区分	学校必修修（学校設定科目）	4	
使用教科書	東京都立八王子東高等学校 国語探究 筑摩書房	5	
使用副教材	ニューエイジ現代文 達成2+（第一学習社）	6	
	評論・小説を読むための新現代文単語	7	
	大学入試漢字TOP2000	8	

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的文章＝文芸作品の展開や表現方法、主題を的確に読み取ることができる。 ・ 評論文＝筆者の伝え方に合わせて論理構造を把握して読解することができる。
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的文章＝文芸作品の展開や表現方法、主題を的確に読み取り、考察することができる。 ・ 評論文＝様々な評論について読解し、内容を踏まえて論理的に考察することができる。
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的文章＝文学的作品を読解し、考察したことを論理的に表現することができる。 ・ 評論文＝多様な分野の評論について読解・考察し、論理的に表現することができる。
担当者からのコメント	文学的文章においては、内容を正しく読み取り、表現や主題について考察できる批評能力の習得を、評論文においては読解した内容をふまえて考察する論理的思考能力を、授業を通して身に付けてほしい。	

成績評価	観点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的な読解をすることができる。 2. 文学的文章の表現方法を理解しつつ読解することができる。 3. 基礎的基本的な言語能力を習得することができる。
	方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査 2. 課題レポートなど 3. 小テスト、長期休業中の課題及び課題テスト

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	12	12	「ちゃぶ台か、テーブルか」「建築はあやしい」・「狐憑」
期末		12	「科学が宗教になる」・「蠅」		
2 学期	中間	14	14	「他者の言葉」・「ピアノ」	漢字小テストを行う。 演習課題を出す。 冬期休業中には 別途課題を課す。
	期末	14		「『後の祭り』を祈る」・「歌のふるさと」	
3 学期	学年末	18	18	「ユクスキュルの環世界」・「普請中」	漢字小テストを行う。 演習課題を出す。

令和3年度 授業実施計画書

学 年	2 年	組	科目担当者
教 科 名	国 語	1	
科 目 名	古典B	2	
単 位 数	3	3	
必修選択区分	学校必履修	4	
使用教科書	精選古典B 古文編・漢文編（東京書籍）	5	
使用副教材	新明説漢文（尚文出版）・完全マスター古典文法（第一学習社）	6	
	完全マスター古典文法準拠ノート（第一学習社）・	7	
	古文単語330(いいずな書店)・読むナビ古典2（いいずな書店）	8	

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古文＝基礎的・基本的な文法知識を確実に習得する。 ・ 漢文＝基礎的・基本的な句形の知識を確実に習得する。
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古文＝文法知識を生かした精読の方法を確実に習得する。 ・ 漢文＝句形の知識を生かした精読の方法を確実に取得する。
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古文＝初見文章を確実に精読することができる。 ・ 漢文＝初見文章を確実に精読することができる。
担当者からのコメント	文法や句法、古文単語の知識等は「読解に生かす」ことを考えながら授業に臨んで下さい。問題集は定期考査に出題しますが、初見の文章を読むためのトレーニングになるように活用しましょう。	

成績評価	観点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 古文・漢文それぞれ基礎的・基本的な知識を習得することができたか。 2. 古文・漢文それぞれ文法的知識をいかしながら意味をつかむことができたか。 3. 古文・漢文それぞれ初見文章を精読することができたか。
	方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査 2. 古文単語等の小テスト・提出物など 3. 長期休業中の課題及び課題テスト

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	18	18	古文：説話1「小野篁、広才のこと」「能は歌詠み」 漢文：小話「先從隗始」「不死之薬」
期末		古文：物語1「渚の院」・随筆「すさまじきもの」 漢文：小話「漱石枕流」・文「漁父辞」			他
2 学期	中間	21	21	古文：随筆2「花は盛りに」・日記1「なげきつつひとり寝る夜」 漢文：史記1「鴻門之会」・「四面楚歌」	他
	期末			古文：日記1「物語」・物語2「若紫」 漢文：思想1「曳尾於塗中」「性之善也、猶水之就下」	他
3 学期	学年末	27	27	古文：物語2「花山天皇の出家」・「三船の才」 漢文：近体詩「江南の春」「黄鶴楼」・古詩「桃夭」	他

令和3年度 授業実施計画書

学 年	3 年	組	科目担当者
教 科 名	国 語	1	
科 目 名	現代文B	2	
単 位 数	3	3	
必修選択区分	学校必履修	4	
使用教科書	精選現代文B 改訂版（筑摩書房）	5	
使用副教材		6	
		7	
		8	

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小説＝登場人物の心情の変化と交錯をとらえることができる。 ・ 評論文＝論理展開を基にした要旨を考え、まとめることができる。
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初見問題で自力で登場人物の心情の変化と交錯をとらえることができる。 ・ 記述問題の答案作成のプロセスを習得することができる。
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入試問題演習を通して様々なジャンルの文章に触れつつ、自己添削することができる。
担当者からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入試を突破する「国語力」を身につけることを通して、A の進展に代表されるような、変化の激しい時代を生き抜くことができる「思考力・判断力・表現力」を身につけてほしい。 	

成績評価	観点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小説における登場人物の心情を理解し、主題を考え、まとめることができたか。 2. 評論文における論理的な文章の展開と論旨を読み取ることができたか。 3. 問題演習等を通して「思考力・判断力・表現力」を身につけることができたか。
	方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査 2. 授業での発言や記述問題演習への取り組み

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	18	18	1、「自然を守る」ということ 2、ことばへの問い 3、身体、この遠きもの
期末		1、科学・技術と生活空間 2、Not I, not I... 3、詩「表札」			
2 学期	中間	21	21	1、物語るという欲望 2、詩「夜がやって来る」 3、貨幣共同体 4、リスク社会とその希望	各種小テストを授業内で行う。
	期末			入試問題演習	
3 学期	学 年 末	27	27	入試問題演習	主に、本校の生徒が多く志望する大学の過去問題を扱う。

令和3年度 授業実施計画書

学 年	3 年
教 科 名	国 語
科 目 名	古典B（古典）
単 位 数	4
必修選択区分	選択科目
使用教科書	精選古典B 古文編・漢文編（東京書籍）
使用副教材	完全マスター古典文法（第一学習社）
	必携新明説漢文（尚文出版）
	新国語総合ガイド五訂版（京都書房）

講座	科目担当者
1	
2	
3	
4	
5	
6	

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学年までの学習事項を使って、難度の高い古文漢文を読解できるようにする。 ・ 古典常識の理顔を深め、場面や人物の心情が理解できるようにする。 ・ 小テストや問題演習を通じて、基本事項を総復習し、知識事項の再確認をする。
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書教材および記述問題演習を通じて、より高度な古文漢文を理解できるようにする。 ・ 読解と論述練習を通じて、作品を深く理解し、正確に現代語訳し、問に答える力をつける。 ・ 問題演習を多く取り入れ、入試問題に対応できる力を高めていく。
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの授業で学んだことを生かし、入試問題演習を通じて大学受験に対応できる力を養う。
担当者からのコメント	<p>文系の進学希望者向けの授業である。予習・復習は必須。問題演習では、初見の文章を読み解く力を養うとともに、本文や設問の解説を通じて、解答作成に習熟する。</p>	

成績評価	観点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文法や古典常識の知識を生かして古文を読解し、場面や心情を理解して表現することができるか。 2. 句法や重要語の知識を生かして漢文を読解し、場面や心情、思想を理解し表現することができるか。 3. 学習してきたことを生かして、初見の文章に対応できる読解力を身につけることができたか。
	方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査 2. 小テスト 3. 問題演習への取り組み

授業計画	学期	時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	24	古文 『十訓抄』『紫式部日記』『和泉式部日記』『十六夜日記』 漢文 『十八史略』
期末		24	古文 『堤中納言物語』『源氏物語玉の小櫛』『源氏物語』『大鏡』 漢文 諸子百家	
2 学期	中間	28	古文 「王朝秀歌」『無名抄』『俊頼髓脳』 漢文 『史記』 『唐宋八大家文』	補助教材を活用し、文法事項や和歌の解釈などに習熟させる。
	期末	28	共通テスト演習・国公立大学論述問題演習	
3 学期	学年末	36	入試問題演習	旧センター過去問・難関大論述問題を中心に演習を行い、実力を養成する。

令和3年度 授業実施計画書

学 年	3 年
教 科 名	国 語
科 目 名	古典B（理系古典）
単 位 数	2
必修選択区分	選択科目
使用教科書	精選古典B 古文編・漢文編（東京書籍）
使用副教材	完全マスター古典文法（第一学習社）
	必携新明説漢文（尚文出版）
	新国語総合ガイド五訂版（京都書房）

講座	科目担当者
1	

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 教科書掲載の古文漢文を初見で読解できる。 初見文章に対応することができる。 問題演習を通じて、基本事項の確認をすることができる。
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 記述問題演習を通じて、記述問題に対応することができる。 教科書掲載教材を正確に現代語訳することができる。 問題演習を多く取り入れ、入試問題に対応できる力を高めていく。
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 入試問題演習を通じて難関大学に合格できる力を身に付けることができる。
担当者からのコメント	東大京大レベルの問題を自力で書ききることができる力の習得を目指し、授業を行う。徹底した読み込み復習を各自に求める。	

成績評価	観点	<ol style="list-style-type: none"> 文法や古典常識の知識を生かして古文を読解し、場面や心情を理解して表現することができるか。 句法や重要語の知識を生かして漢文を読解し、場面や心情、思想を理解し表現することができるか。 学習してきたことを生かして、初見の文章に対応できる読解力を身につけることができたか。
	方法	<ol style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 問題演習への取り組み

授業計画	学期	時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	12	古文 『紫式部日記』 『十訓抄』 漢文 『十八史略』 大学入試問題演習(古文・漢文)
期末		12	古文 『紫式部日記』 『十訓抄』 漢文 『十八史略』 大学入試問題演習(古文・漢文)	
2 学期	中間	14	古文 『無名抄』 漢文 『史記』 大学入試問題演習(古文・漢文)	補助教材を活用し、文法事項や和歌の解釈などに習熟させる。
	期末	14	共通テスト演習・国公立大学論述問題演習	
3 学期	学年末	18	入試問題演習	旧センター過去問・難関大論述問題を中心に演習を行い、実力を養成する。

令和3年度 授業実施計画書

学 年	3 年
教 科 名	国 語
科 目 名	発展古典B（古典B）
単 位 数	4
必修選択区分	選択科目
使用教科書	精選古典B 古文編・漢文編（東京書籍）
使用副教材	完全マスター古典文法（第一学習社）
	必携新明説漢文（尚文出版）
	新国語総合ガイド五訂版（京都書房）

講座	科目担当者
1	
2	

学 習 の 目 標	1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難度が極めて高い古文漢文を初見で読解できる。 ・ 古典常識を習得し、初見文章に応用させて文章理解をすることができる。 ・ 問題演習を通じて、基本事項の確認をすることができる。
	2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書教材および記述問題演習を通じて、記述問題に対応することができる。 ・ 読解と論述練習を通じて、作品を深く理解し、正確に現代語訳することができる。 ・ 問題演習を多く取り入れ、入試問題に対応できる力を高めていく。
	3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入試問題演習を通じて難関大学に合格できる力を身に付けることができる。
担当者からの コメント	難関国公立の問題を自力で書ききることができる力の習得を目指し、教科書を用いて授業を行う。徹底した読み込み復習を各自に求める。	

成 績 評 価	観 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文法や古典常識の知識を生かして古文を読解し、場面や心情を理解して表現することができるか。 2. 句法や重要語の知識を生かして漢文を読解し、場面や心情、思想を理解し表現することができるか。 3. 学習してきたことを生かして、初見の文章に対応できる読解力を身につけることができたか。
	方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査 2. 小テスト 3. 問題演習への取り組み

授 業 計 画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学 期	中 間	24	24	古文 『紫式部日記』『和泉式部日記』 漢文 『十八史略』 大学入試問題演習(古文・漢文)
期 末		古文 『堤中納言物語』『源氏物語』『大鏡』 漢文 諸子百家 大学入試問題演習(古文・漢文)			
2 学 期	中 間	28	28	古文 『無名抄』『俊頼髓脳』 漢文 『史記』『唐宋八大家文』 大学入試問題演習(古文・漢文)	補助教材を活用し、 文法事項や和歌の解釈 などに習熟させる。
	期 末			共通テスト演習・国公立大学論述問題演習	
3 学 期	学 年 末	36	36	入試問題演習	旧センター過去問・ 難関大論述問題を中心 に演習を行い、実力を 養成する。

令和3年度 授業実施計画書

学 年	3 年	講座	科目担当者
教 科 名	国 語	141	
科 目 名	看護系国語		
単 位 数	2		
必修選択区分	選択科目		
使用教科書	「精選 現代文B 改訂版」(筑摩書房)		
使用副教材	プリントを配布		

学 習 の 目 標	1 学 期	医療分野の課題について、文献購読や、時事問題を通して探究活動を行い、看護系進学に向けてのレディネスを身につける。
	2 学 期	看護系進学に向けての、小論文・入試問題演習を行う。
	3 学 期	面接・小論文について演習を行う。
担当者からのコメント	看護学部進学希望者対象で、医療分野を中心に、現代日本社会の課題について探究する講座です。	

成 績 評 価	観 点	医療の進歩や課題、現代社会の課題に応じた医療の役割などについて、問題意識をもって探究活動を行い、成果を文章としてまとめている。
	方 法	毎回の授業ごとに、その日の文献購読や調査、ディスカッション、発表について評価します。定期考査は行いませんが、授業ごとの作業状況及び提出物と学期に数回のレポートを評価対象とします。

授 業 計 画	学 期		時 間	指 導 内 容	備 考
	1 学 期	中 間	12	指定図書(新書)各1冊について文献購読を行い、その内容及び、課題について発表する。	
期 末		12	時事問題について、新聞や参考文献、その他のメディアを利用しながら調べ、ディスカッション及びポスターセッションを行う。		
2 学 期	中 間	14	小論文や面接の形式について学び、自分の考えを小論文にまとめる。		
	期 末	14	問題演習を行う。		
3 学 期	学 年 末	18	小論文等の個別指導を行う。		